

No.250  
2018  
3/19



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本

八地申  
第19号

## 「平成29年度営業関係施策(その3) 上野原駅および武蔵五日市駅の業務委託について」に関する申し入れ

八王子地本は、支社より上野原駅および武蔵五日市駅の業務委託について郵送にて提案を受けました。このような手続きはこれまでの労使関係からしても容認できるものではありません。改めて今後の取扱いについては是正していくように求めます。それと同時に組合員の労働条件にかかわる重大なことからもしっかりと施策に向き合っていきます。

2018年1月11日JR信越線での大雪によって15時間以上にわたり駅間停車した事象は記憶に新しいところです。八王子支社管内では95駅中、無人駅22駅、業務委託駅43駅、本体駅30駅となっていることから、異常気象を想定した指揮命令や相互の連携などの対策を講じる必要性があります。今回の上野原駅および武蔵五日市駅の業務委託については、エルダー社員の雇用の場の確保の実現を図るとともに、防災・減災の観点や、観光拠点とした鉄道事業として地域と共に歩むための責務を果たすことができる施策としていかなければなりません。営業職場で働く組合員が、将来への希望を持てる施策の実現と安全・安心して働ける環境をつくりだすために交渉を行っていきます。

### 営業職場の将来をみんなの手で創り出そう!

要求提出!

1. 施策実施にあたる提案資料を郵送したことは、これまでの労使慣行を踏みにじる行為であり、到底容認できるものではないことから同種取扱いを二度と行わないこと。
2. 上野原駅および武蔵五日市駅の駅業務全般(一括業務委託)を行なえる理由と根拠を具体的に示すこと。駅業務委託にあたっては、この間の労使の確認事項と議論経過を遵守するとともに「エルダー雇用の場の確保の必要性」を前提としたものとする。
3. 業務委託後の「管理駅」と「非管理駅」の区分を明確にし、異常時等が発生した場合等に十分な連携が図られるように「管理駅」の体制を強化させること。また、安全指導にかかわる安全管理体制を強固なものとするために、輸送業務経験者等を配置して安全に資する教育・訓練の充実をはかり、駅の安全性向上に取り組ませること。
4. 委託実施後における業務執行体制や業務内容等の変更点について具体的に明らかにすること。また、駅の安全とサービスレベルを確保するため、夜間・早朝における一人勤務体制は行わず、二出面体制を確保すること。
5. 過去の大雪の教訓に踏まえ、五日市線および中央列車線での旅客救済方法や防災の視点、安定性の確保についての考えを具体的に示すこと。また、災害が発生した際の食料などの備蓄品などの確保を行い、地域への貢献が出来る体制を構築すること。
6. みどりの窓口を閉鎖して以降、指定席券売機(MV)で購入することの出来ない乗車券類の購入や払い戻しに関して、拝島駅および高尾駅での取り扱いが増加していることから対策を講じること。
7. 遺失物取扱い、車いす対応業務などに関する取扱い方法を明確化し、サービスレベルが低下しないように対応力をつけること。
8. 休憩室ならびに休養室のリニューアル化など現状ある問題の解決を図り、安心して働ける環境の整備を行うこと。
9. 今施策を実施するにあたって発生する「出向」および異動については、本人の希望を尊重した上で実施すること。

災害・異常時に強く、  
技術・技能を生かせる職場をつくりあげよう!  
エルダー組合員の